

81 気候変動への適応の取組の推進

<対策のポイント>

世界的な気候変動の中でも、持続的かつ安定的に食料生産等を継続できるよう、高温耐性品種や高温等に対応する栽培管理技術の開発・導入などの適応策への支援や、温暖化や極端な気象現象による災害等への対応を進めるとともに、産地が適応策の検討を円滑に行えるように情報提供を推進します。

<政策目標>

水稻における高温耐性品種（主食用米）の作付面積割合 [令和6年産 16.3% → 令和8年産 18%]

<事業の全体像>

品種や技術の開発・普及

- 1. 生産性の抜本的な向上を加速化する革新的新品種開発** 10億円（前年度 4億円）の内数
高温耐性品種等革新的な特性を持った品種、開発した品種の利用拡大に資する新品種の栽培技術、省力的な種苗生産技術、育種素材の開発等を推進。
- 2. 米穀等安定生産・需要開拓総合対策事業** 40億円（前年度 - ）の内数
米穀等の高温耐性品種等について、安定的な種子の生産・供給体制の構築に向けた取組等を支援。
- 3. コメ新市場開拓等促進事業** 200億円（前年度 110億円）の内数
新市場開拓用米等の需要拡大が期待される作物について、高温耐性品種の作付け等、実需者ニーズに応じた品質等に対応するために必要となる生産性向上等の取組を支援。
- 4. 果樹農業生産力増強総合対策** 61億円（前年度 53億円）の内数
高温適応性を有する品種等への改植・新植や未収益期間の幼木管理経費、遮光ネットやかん水設備等の資機材の導入、気候変動適応対策の実証等の取組を支援。
- 5. 加工・業務用野菜の国産シェア奪還** 11億円（前年度 4億円）の内数
高温耐性品種等や遮光・遮熱資材、かん水パイプの導入など高温対策に係る取組を支援。
- 6. 花き支援対策** 8億円（前年度 7億円）の内数
高温耐性品種等や遮光・遮熱資材、細霧冷房の導入など高温対策に係る実証を支援。
- 7. 強い農業づくり総合支援交付金** 122億円（前年度 120億円）の内数
台風・大雪・高温対策として、低コスト耐候性ハウスの導入と併せ、遮光資材や細霧冷房、ヒートポンプ等の導入を支援。
- 8. 消費・安全対策交付金のうち重要病害虫の特別防除等** 24億円（前年度 19億円）の内数
海外から飛来する国内で未発生の病害虫等について、発生地域における発生調査、防除対策等を実施。
- 9. 持続可能性配慮型畜産推進事業** 1億円（前年度 1億円）の内数
家畜が快適に過ごすための畜舎環境のあり方等のアニマルウェルフェアに配慮した飼養管理の普及・定着に向けた取組等を支援。

極端な気象現象による災害等への対応

- 10. 農業農村整備事業<公共>** 3,941億円（前年度 3,331億円）の内数
気候変動による災害の防止・軽減のため、農地及び農業水利施設等生産基盤の整備を推進。
- 11. 農業農村整備事業<公共>のうち水利施設管理強化事業** 45億円（前年度 34億円）の内数
農業水利施設における渇水・高温対策の取組を支援。
- 12. 森林整備事業<公共>** 1,485億円（前年度 1,256億円）の内数
森林の防災・保水機能の発揮のため、間伐等の森林整備や、防災機能の強化に向けた林道の開設・改良等を推進。
- 13. 治山事業<公共>** 739億円（前年度 625億円）の内数
豪雨等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、治山施設の設置等による森林の保全・整備を推進。
- 14. 水産基盤整備事業<公共>** 865億円（前年度 731億円）の内数
平均海面水位の上昇等へ対応した防波堤の嵩上げや、海水温の上昇による海洋生物の分布域の変化に対応した漁場整備等を実施。

産地における適応策の検討に資する情報提供

- 15. 戦略的農林水産研究推進事業** 19億円（前年度 14億円）の内数
将来の適作・収量予測等の情報をデータベース・マップ化し、既存Webサービスを活用して被害予測、将来の適作マップ等の情報を提供。
- 16. みどりの食料システム戦略推進総合対策** 39億円（前年度 6億円）の内数
近年の記録的な猛暑を踏まえた効果的な適応策を調査・整理し、地方公共団体等への情報提供を実施。

【お問い合わせ先】 大臣官房環境バイオマス政策課 （03-6744-2473）